



平成 24 年 4 月 11 日

各 位

福岡県福岡市中央区薬院一丁目 1 番 1 号
メディアファイブ株式会社
代表取締役社長 上野 英理也
(コード番号：3824 Q-Board)
問合せ先：専務取締役管理本部長 吉行 亮二
(電話番号：092-762-0555)
<http://www.media5.co.jp/>

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 5 月期第 3 四半期において、下記のとおり特別損失を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 23 年 7 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損の計上

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、実質価額が著しく下落し、その回復する見込みがあると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上いたします。

平成 24 年 5 月期第 3 四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
平成 24 年 5 月期第 3 四半期会計期間（平成 23 年 12 月 1 日から平成 24 年 2 月 29 日まで）の投資有価証券評価損の総額（= A-B）	20 百万円	20 百万円
（A）平成 24 年 5 月期第 3 四半期累計期間（平成 23 年 6 月 1 日から平成 24 年 2 月 29 日まで）の投資有価証券評価損の総額	25 百万円	25 百万円
（B）直前四半期（平成 24 年 5 月期第 2 四半期）累計期間（平成 23 年 6 月 1 日から平成 23 年 11 月 30 日まで）の投資有価証券評価損の総額	5 百万円	5 百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、5 月 31 日です。

2. その他特別損失の計上

事務所等の統廃合を行うことにより、賃貸借契約解約損 9,167 千円、固定資産除却損 4,250 千円を特別損失として計上いたします。

3. 平成 24 年 5 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 6 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	980	4	8	4	943.84
今回発表予想（B）	888	△44	△37	△83	△19,584.71
増減額（B-A）	△92	△48	△45	△87	
増減率（%）	△9.4%	—	—	—	

4. 平成 24 年 5 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 23 年 6 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	910	0	4	2	471.92
今回発表予想（B）	823	△46	△39	△84	△19,820.67
増減額（B-A）	△87	△46	△43	△86	
増減率（%）	△9.6%	—	—	—	

5. 業績予想修正の理由

SI 事業 SI グループにおいては、企業からの IT エンジニアの需要は幾分好転しており契約件数も増加しておりますが、SI 事業ソリューショングループにおいて、新規の受託開発案件の受注が伸び悩んでいること、また、Bakoon!!サービスの契約件数の進捗についても遅れているため、営業担当者の労務費を始めとした販売費及び一般管理費の負担が大きくなっております。スクール事業においては、求職者支援制度による職業訓練の認定基準が厳しくなったことにより、東京地区での新規の開催ができておらず、売上高が減少したことに加え、販売費及び一般管理費が増加しております。

また、先述したように、投資有価証券評価損の計上及び事務所の統廃合による特別損失を計上しております。以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を下回る見込みです。

今後は、適正な人員配置による労務費を始めとした販売費及び一般管理費の削減及び拠点の統廃合による賃料等の圧縮、厚生労働省が実施している求職者支援制度に頼らない IT エンジニアの育成を行い、業績向上に努めて参ります。

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上